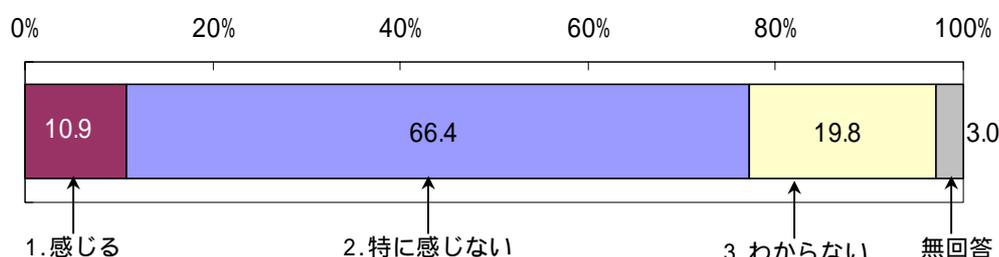


5 文化について

問 34 市の文化や歴史に親しむ機会が身近にあると感じていますか？

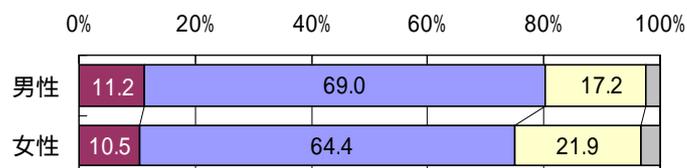
対象数 = 1,252



「1.感じる」と回答した人はわずか1割程度で、「2.特に感じない」6割超、「3.わからない」約2割と、文化や歴史に親しむ機会が少ない状況であることがうかがえます。

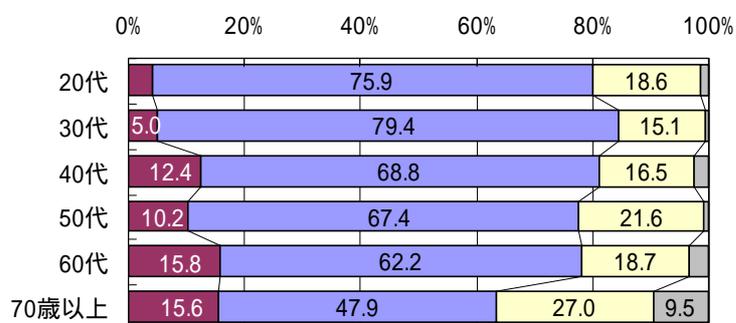
【性別】

性別による大きな差は見られませんが、女性で「3.わからない」が若干高く、21.9%となっています。



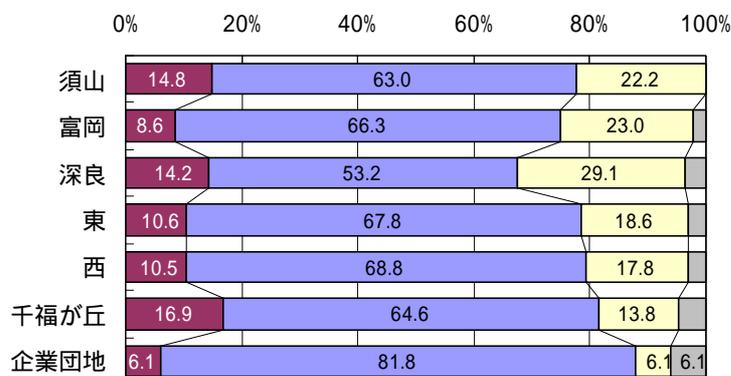
【年代別】

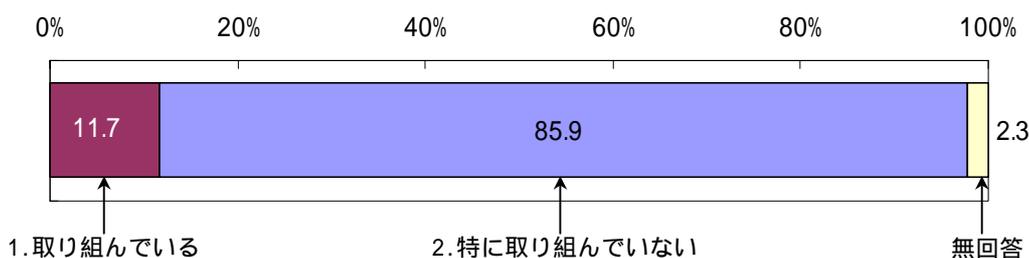
若年層ほど「2.特に感じない」が高い傾向にあり、20代、30代では8割弱となっています。



【地区別】

須山地区、深良地区、千福が丘では、「1.感じる」が14~17%と比較的高い傾向にあります。

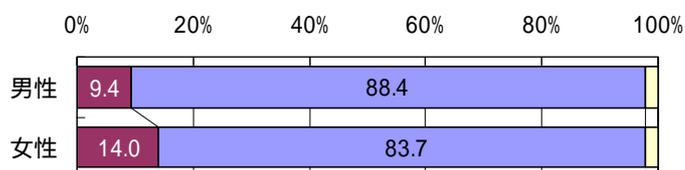




「1. 取り組んでいる」11.7%、「2. 特に取り組んでいない」85.9%と、生涯学習活動や文化・サークル活動に取り組んでいる人は、わずか1割程度となっています。

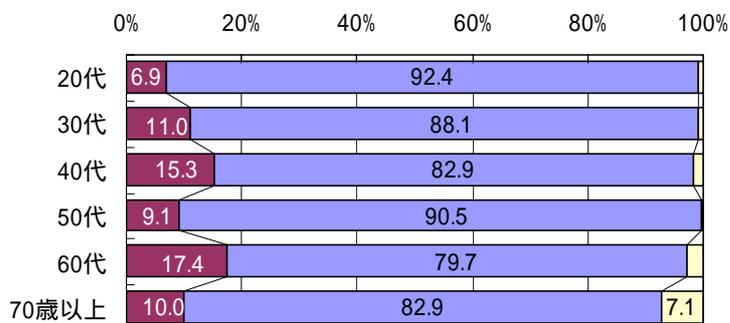
【性別】

男性より女性の方が、生涯学習活動に取り組んでいる人の比率は高くなっています。



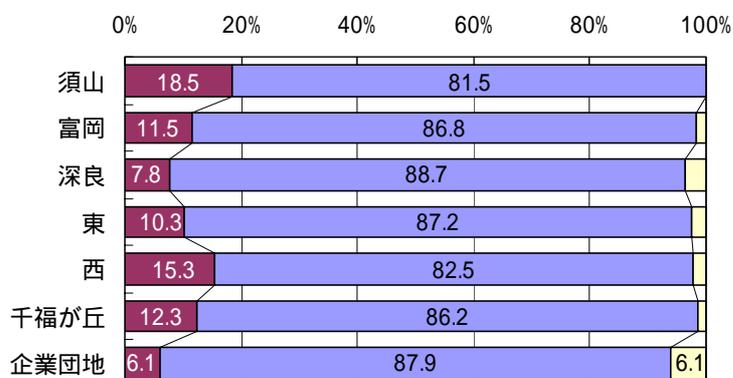
【年代別】

生涯学習活動に取り組んでいる比率が最も高い60代においても17.4%にとどまっています。



【地区別】

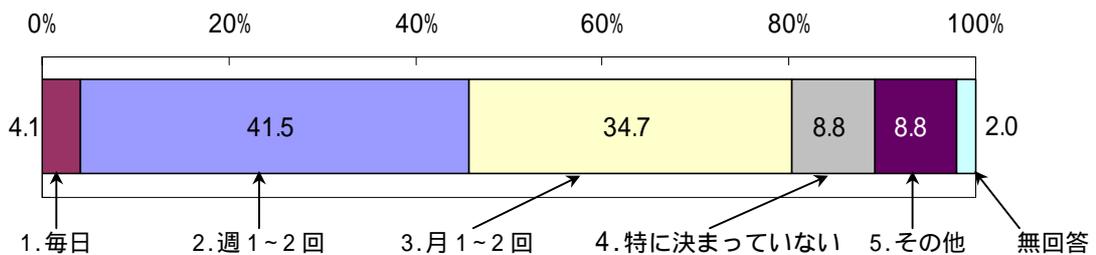
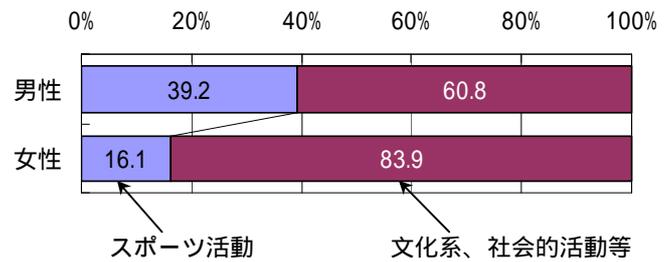
比較的高い須山地区においても18.5%にとどまっています。



問 35 で「1. 取り組んでいる」と回答した 147 人のうち、具体的活動を記述した人は 138 人で、男性 51 人、女性 87 人となっています。

男性は、主にスポーツ活動が多く、約 4 割の人が取り組んでいます。

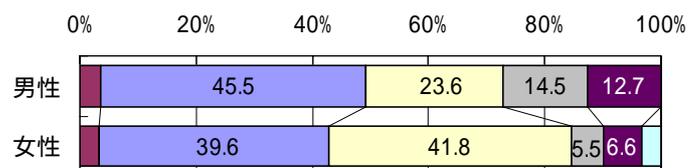
女性は、茶道、園芸、絵画、音楽等の文化系の趣味活動が大半ですが、ボランティア等社会的活動に取り組まれている人も目立ちます。



「2. 週 1~2 回」が最も高く 41.5%、次いで「3. 月 1~2 回」34.7%となっています。

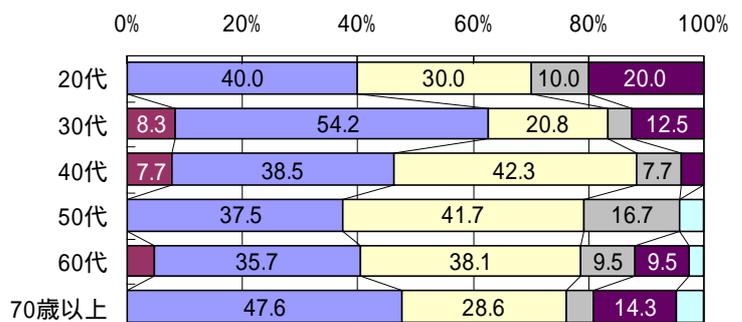
【性別】

「1. 毎日」「2. 週 1~2 回」をあわせた比率では、男性が 5 割、女性が 4 割強と男性の比率が高いものの、「3. 月 1~2 回」まで含めると、男性が 7 割強、女性が 8 割強となり、女性が男性を上回ります。



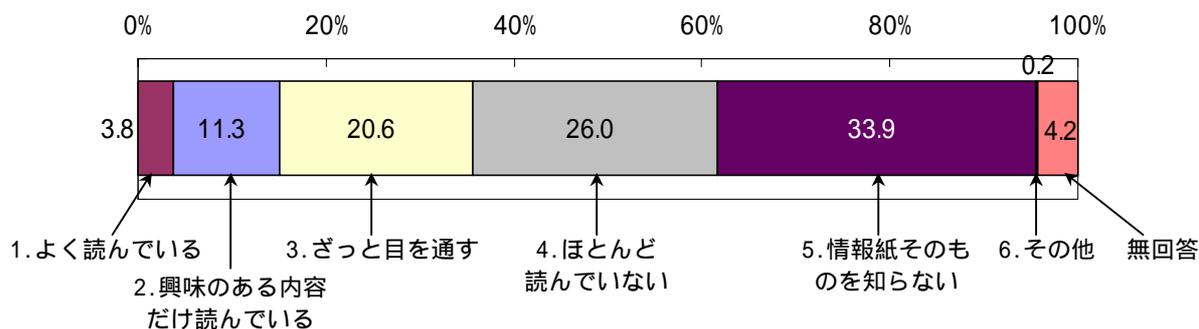
【年代別】

30 代、40 代では「1. 毎日」と回答した人が他年代に比べ多くなっています。また、30 代では、「2.」も 5 割を超え、「1.」とあわせて活動の頻度が高いことがうかがえます。



問 38 市では生涯学習紙「For You フォーユー」と「To You トゥーユー」を発行していますが、この情報紙をどの程度読んでいますか？

対象数 = 1,252



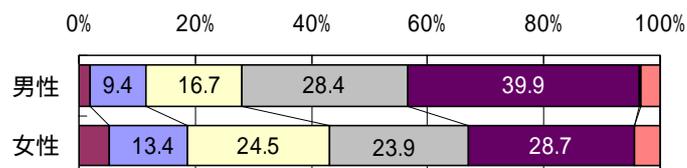
「5. 情報紙そのものを知らない」が最も高く 33.9%、次いで「4. ほとんど読んでいない」26.0%、「3. ざっと目を通す」20.6%となっています。

「1. よく読んでいる」「2. 興味のある内容だけ読んでいる」「3. ざっと目を通す」をあわせた読んでいるという比率は 35%程度となっています。

【性別】

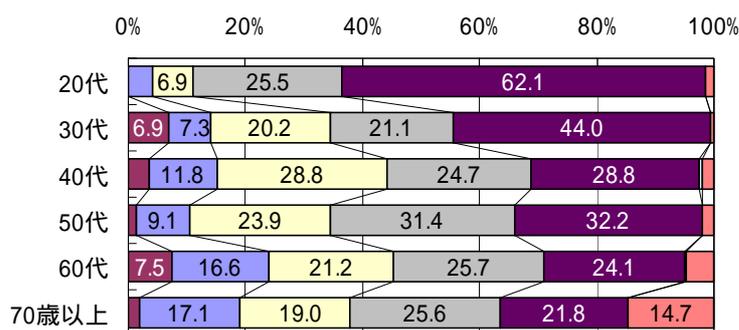
男性より女性の方が「1.」「2.」「3.」をあわせた読んでいるという比率は高く、4割を超えています。

一方、男性では「5. 情報紙そのものを知らない」が約4割にのぼります。



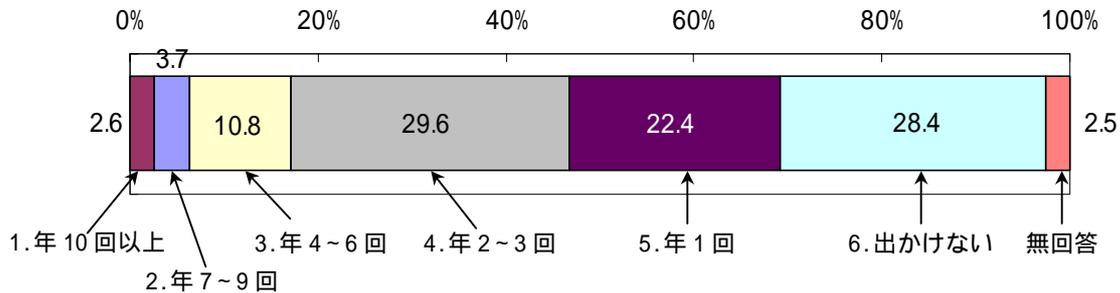
【年代別】

若年層ほど「5. 情報紙そのものを知らない」が高く、特に20代では6割超となっています。



問 39 芸術鑑賞（コンサート、演劇、美術、映画等）に出かける機会は何の程度ありますか？

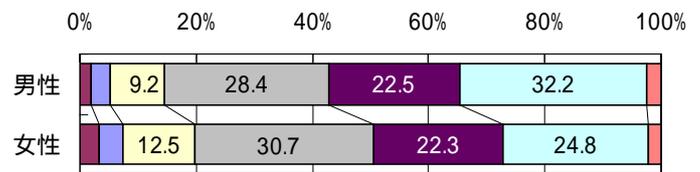
対象数 = 1,252



芸術鑑賞に出かける機会は、「4.年2~3回」が最も高く29.6%、次いで「6.出かける」28.4%、「5.年1回」22.4%となっています。

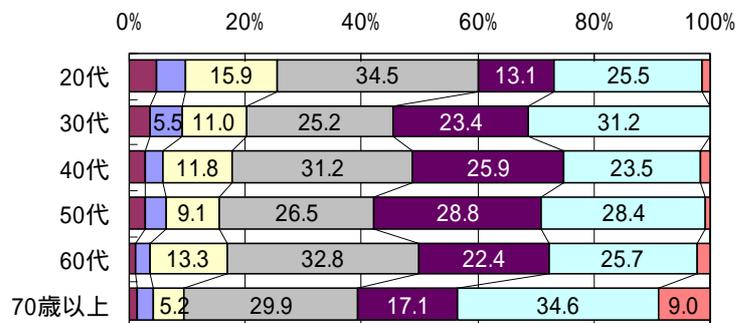
【性別】

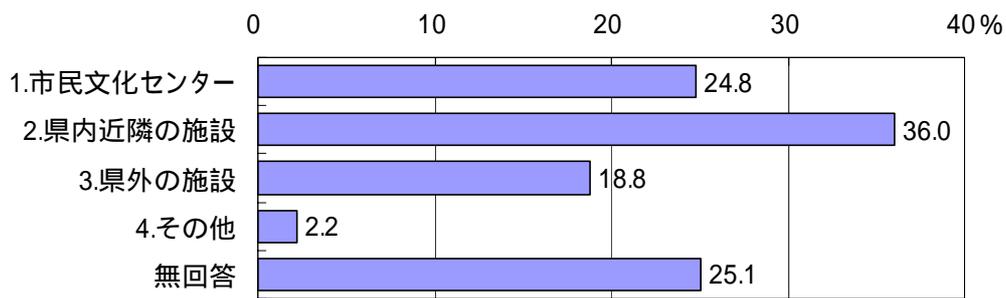
「1.」~「5.」のいずれについても、女性の比率は男性を上回っており、男性より女性の方が、芸術鑑賞に出かける機会が多いことがうかがえます。



【年代別】

「1.」~「5.」をあわせた比率は、70歳以上を除き、各年代とも7割前後と大きな差は見られませんが、20代、30代の若年層では、「1.年10回以上」「2.年7~9回」が高い傾向にあります。



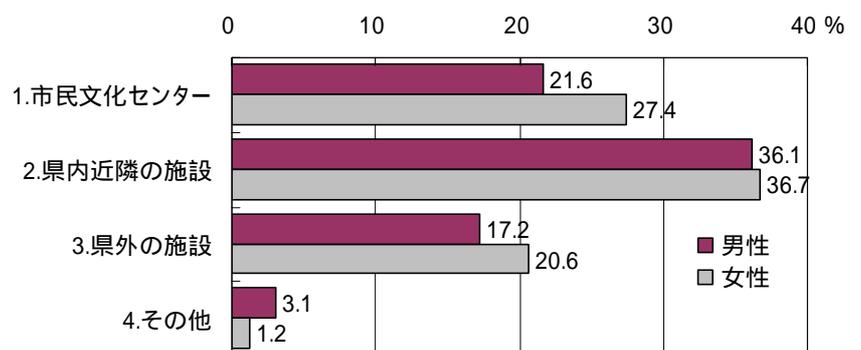


「2.県内近隣の施設」が最も高く 36.0%、次いで「1.市民文化センター」24.8%、「3.県外の施設」18.8%となっています。

問 39 で「出かけない」と回答した人が含まれているため、無回答が 25.1%と高い比率になっています。

【性別】

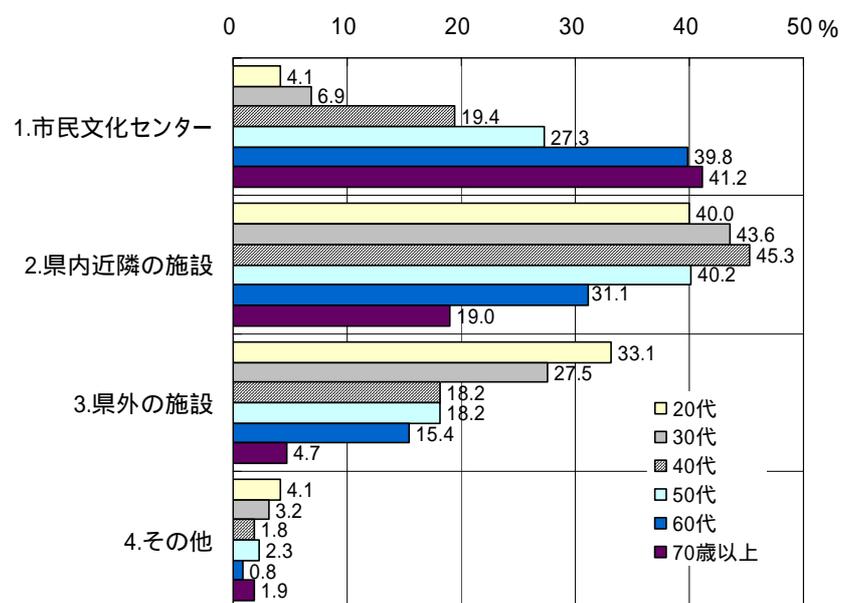
近距離・遠距離の施設にかかわらず、男性より女性の方が高くなっています。

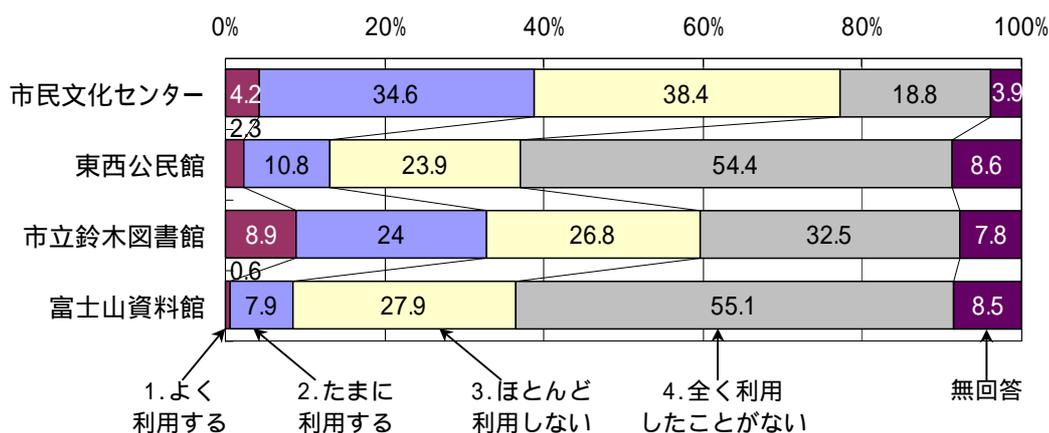


【年代別】

高齢層では、近距離の「1.市民文化センター」が最も高く、60代、70歳以上で約4割となっています。

一方、若年層では、遠距離の「2.県内近隣の施設」「3.県外の施設」が多く、特に、20代、30代では「2.」「3.」を合わせた比率は約7割となっています。



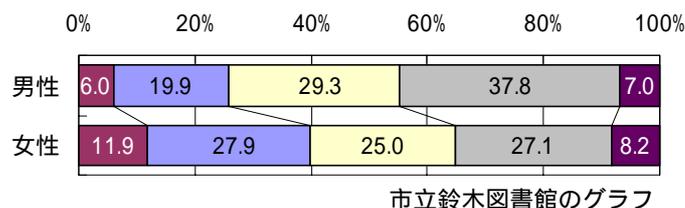


「1.よく利用する」「2.たまに利用する」をあわせ、利用する比率が高い文化施設は、市民文化センター38.8%、市立鈴木図書館 32.9%となっています。

一方、東西公民館と 富士山資料館は、「4.全く利用したことがない」が半数以上を占め、「1.」「2.」をあわせても、利用する比率は約1割にとどまっています。

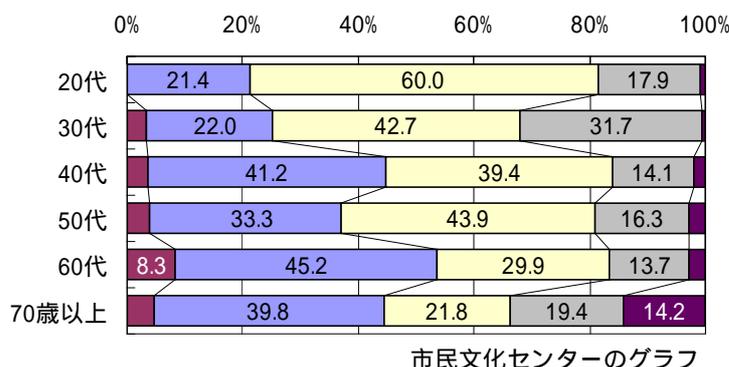
【性別】

4施設の中では、特に 市立鈴木図書館の利用について男女差がみられ、女性の方が利用率が高くなっています。



【年代別】

市民文化センターについては、20代、30代では、「1.」「2.」をあわせても利用率は約2割程度となっています。



【地区別】

市立鈴木図書館については、須山・富岡・深良の3地区の利用率が低く、約2割程度となっています。

